



横浜市立万騎が原中学校 学校だより

桐の花

令和2年5月11日

校長 中村 雅一

横浜市旭区万騎が原 31 TEL 045-391-5514 FAX 045-391-5537

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/makigahara/index.cfm>

休校が長期化する中で

校長 中村 雅一

3月3日から始まった臨時休校。4月8日からの学校再開も国の「緊急事態宣言」により、休校が延長され5月1日で60日が経過。そして、ゴールデンウィークが明け、さらなる5月31日までの延長決定で休校は90日に達します。

かつて、ここまで長期にわたる学校の休みはありませんでした。たとえ、長期でもその始まりと終わりが明確であれば、目標や計画は立てやすいものです。それが、今は、いつ収束（終息してほしい）するかわからない中での自粛、いつ学校が再開するかわからないという中での家庭学習です。

学校では、4月、5月に続いて6月の行事中止や延期を決め、授業計画は見直しに次ぐ見直しです。部活動も停止の中、夏の大会開催も危ぶまれてきました。「学校はどうなるのか、受験は、夏の大会やコンクールは」、そんな君たちの心配の声聞こえてきます。先が見えない中だから、勉強も、部活動も、モチベーションが上がらない、目に見えない新種で未知のウイルスだから、恐怖やもどかしさを感じてしまいます。

振り返ればこれまで、ペストをはじめとして、エボラ出血熱、新型インフルエンザ、SARS など、常に人類はウイルスや感染症、病原菌との戦ってきました。しかし、私たちの置かれている状況は、世界中の人や物、サービスの行き来がこれまでになく迅速で大量になったグローバル化により、世界が一つになることの経済面のメリットと共に、世界規模の感染拡大という大きなリスクがある、ということ強く認識させられました。新型コロナウイルスは、まだ誰も経験したことがない人々の体も経済をも破壊していく世界規模の大災害です。

このような中、国内では「今大事なことは、感染防止」という考え方と、「休業要請を解除して、経済活動の再開が大事」という考え方がせめぎ合っています。「感染防止」は「いのち」の問題。「経済活動の再開」は、再開しなければ収入が途絶え食べていけないという切実な「暮らし」の問題です。

中学生である君たちも同様に、感染拡大は、自分の「いのち」、大事な家族や友人の「いのち」の問題。と同時に、休校や学校再開の延長は、受験勉強やスポーツ等の機会が失われ、将来の利益にどれだけ影響するか心配される事態で、これまた切実な問題です。

「いのち」と「暮らし」、これをどのように考えたいのでしょうか。「安心・安全」を優先すれば、勉強やスポーツ等は停滞し、受験や進学への不安が生じます。反対に学校を再開して勉強やスポーツに取り組んでいけば、感染の不安と背中合わせです。「二項対立」といって、相いれないのでしょうか。

「いのち・安全」と「暮らし・経済（利益）」の二つは、どちらも大切なものですが、相いれるためには、どうしたらいいのでしょうか。難しく重い問いで、簡単には答えが見つかりません。でも考えなければなりません。

例えば、学校教育の制度やシステムが変わることです。個人の利益や安心・安全を現在の公教育に際限なく求めていくには、限界があります。そうは言っても、学校や社会が今すぐ変わらないならば、、、。人の方が変わるしかありません。自分の考え方や価値観を変えていく、ということです。

学校や塾、習い事が当たり前にあった生活から2か月近く離れて、自分にとって大事なもの、必要なもの、本当にやりたいこと。いらぬもの、なくてもいいもの、やらなくてもいいこと。など、気づきや発見はありますか。

勉強や仕事そのものの意味、将来に向けた人間関係や生活そのものを見直すこと、なぜ学校に通うのか、何のために仕事をするのか、勉強とは受験勉強のことなのか、仕事とはお金のことなのか、それだけではないもっと別の答えや解があるのではないのでしょうか。

世の中にはたくさんの道が存在します。一つの道にこだわり過ぎるのは、ほかの道をあきらめることにつながります。様々な道が見えるところまで行くための勉強や読書で新たな発見をしてほしいです。新たな価値観や生活の営みが生まれるのは、いつも危機的状況からです。

終わりに、今、医療に携わる医師や看護師の方々、日夜、最前線で患者の命を守るために闘っています。感染のリスクを負いながら懸命に診療や看護を行っている医療従事者が、万一感染したとしても、その本人はもちろんその家族が、周りから非難・中傷されることがあってはなりません。そうした風評被害がまた医療崩壊につながります。それは社会が機能しなくなることを意味します。

自分の命を大切にするためには、他者の命を大切にすることです。利己主義の「自分さえ良ければ」という考え方では、新型コロナウイルスは、すぐに息を吹き返します。ウイルスは人の心もむしばんでいきます。

諸外国では、仕事を終えて自宅に戻ってくる医療従事者はもちろん、感染から退院し自宅に戻ってくる人たちを温かく迎える様子が報道されています。自らを危険にさらして闘っている人たち、ウイルスと闘って生還した人たちを応援する声ももっともっと国内で沸き起こり、温かい支え合いの地域や社会づくりに学校もその一端を担っていきたくと思います。

これから景気の悪化や感染拡大第二波の到来等も心配される中、治療薬やワクチンの早期開発と、休校や休業しても学習や生活が一定程度保障されるシステムや保障制度の早急な整備を願ってやみません。そして、ウイルスや感染症と共生できるコロナ後の学校、社会、生活のあり方を考え議論していくことも、待たないです。

(令和2年 5月 8日)

学校行事に関する当面の対応について

現在 臨時休業中ですが、6月より学校が再開された場合の学校行事についてお知らせいたします。教育委員会より、8月下旬までの学校行事について見直しをするよう指示がありました。その中で密集・密接・密閉の可能性が考えられる場合は、中止や延期をする方向になりましたのでご理解ご了承をお願いいたします。

■主な学校行事

6月1日(月) 学校再開 形態については、今後 教育委員会より指示があります。

学校再開の方法は、今後、教育委員会の指示がありしだい、ホームページ等に掲載されますのでご確認ください。

6月2日(火) 体育祭 「中止」 (【開港記念日】により休業日となります。)

※体育祭については、練習時間の確保等から「中止」とします。今後は、学年ごと等の工夫で体育的行事を実施する予定です。

6月3日(水) 授業 (年間計画では体育祭の振替日になっていました)

6月11日(木) 前期中間テスト 実施せず

6月12日(金) 前期中間テスト 実施せず

※前期中間テストについては、実施せず評価資料の収集は、教科ごと小テスト等を実施していきます。休業中の学習課題については、学習に取り組む態度として適切に評価し、休業期間中の課題を学校再開後の授業等で活用し、小テスト等で定着を確認し、評価資料とします。

6月18日(木) 3年進路説明会 現状では、判断できないため「延期」とします。

※日程や開催方法が決定しだい、お知らせいたします。6月下旬から7月上旬を予定しています。

6月22日(月)～26日(金)の授業参観週間は、実施せず

※授業参観週間は、今回は、実施を見合わせ、10月に予定をしています。

※4月に予定していた学級懇談会についても再度「延期」とします。

6月に延期した教育活動説明会は、実施せず

※資料のみ配付し、ご質問・ご意見等は、適宜ご相談ください。

6月30日(火) 3年進路学習会 実施せず

※3年生の進路学習として、高等学校等の先生による説明会を実施していましたが「中止」します。

7月8日(水)・9日(木) 教科相談 実施せず

※授業時間数の確保から教科相談日は設定せず、教科への相談等は、適宜実施します。

7月10日(金)・13日(月)～16日(木) 保護者面談 予定通り実施します。

■夏季休業の取り扱い(期間設定)

教育委員会の指示がありましたらご連絡いたします。

■保健関係の検診は、9月以降に日程を延期しました。

○○●○○○●○○○○●○○○○○●○○○○○○●○○○○○○○●○○○○○○○●○○○○○○○●○○○○○○○●○○○○○○○●

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう

日本赤十字社のサイトです。下の資料を参考に今一度、新型コロナウイルスについて考えてみましょう。

http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html

○○●○○○●○○○○●○○○○○●○○○○○○○●○○○○○○○●○○○○○○○●○○○○○○○●○○○○○○○●○○○○○○○●

学校カウンセラー(小川みなみ先生)による相談

5月～7月の相談日は

5月13日(水)〈午後〉・20日(水)・27日(水)、6月3日(水)・10日(水)・17日(水)・24日(水)、

7月1日(水)・8日(水)・15日(水)です。

相談の予約等は、本校職員または相談室直通電話(391-5891)まで。

●○○○○○●○○○○○○○●○○○○○○○●○○○○○○○●○○○○○○○●○○○○○○○●○○○○○○○●○○○○○○○●○○○○○○○●

<セクシャルハラスメント相談窓口>

生徒相談窓口：養護教諭【倉方理恵・有吉真紀】 学校カウンセラー【小川みなみ】

教職員・保護者相談窓口：副校長【上床健太】

教育総合センター 電話 045-671-3726 (月～金 9:00～17:00)

※ 女性の教職員や保護者で、男性の副校長には話しづらい案件の場合は養護教諭へ。